

キラリン

酒田市農業委員会報 No.58



「秋はやっぱり芋煮～里芋のけえ取りと長ネギの皮むき作業～」
(毛羽)

特集

コロナに負けるな!酒田農業で奮闘中(2、3面)

～新規就農者に聞いてみました～

キラリな女性 ^{ひと}かがやく女性農業者

教えてキラリン(4面)

かぜ～若手農業者リレーエッセー～(5面)

農業一筋 おしらせ(6面)

令和2年 秋季号

特集 コロナに負けるな! 酒田農業で奮闘中

～ 新規就農者に聞いてみました ～

世界規模で感染が拡大している新型コロナウイルスは、生産・販売の両面で大きな影響を与えており、新たな課題として酒田農業の現場に立ちはだかっています。

そのような中で、恵まれた気候、豊かな水、肥沃な耕地、広大な水田、優れた技術の酒田の地で新たに農業に挑戦されている農業者がいます。

今回はその中から、2名の新規就農者の方にお話をお聞きしました。

「アナログに戻り お客様のすぐ側に 寄り添う農業を」

おくやまたかさん 南遊佐地区



普段から農業について一緒に作業させていただき、露地での農業を教えていただいているという門田の金野さんご夫妻・本間さんと一緒に、金野さんの畑でニンジンの播種作業をしているところにおじゃましました。

Q 耕作面積はどのくらいで、どんな農産物を作っていますか？

A 本楯地区と西荒瀬地区に土畑と砂畑あわせて約35㍓をお借りしています。今年、ズッキーニやオクラ、ゴボウをメインに、パプリカやヤーコンなどを栽培しています。試行錯誤中なので、来年はまた違う作物を栽培すると思います。

Q 就農したきっかけを教えてください。

A 20年間程、家の裏庭で無農薬の有機野菜を家族のために栽培していました。本格的に農業という仕事をしたくて畑を探し活動を始めていたところ、以前勤めさせていただいた吉田地区の渡部正宏さんご夫妻のご厚意で、令和元年の春に研修をスタートさせて頂くことができました。

Q 農業の魅力や、やりがいを感じるころは？

A 「あーしんどいなー」と思った時でも、顔を上げて空を見上げると自然と笑顔になります。作物との言葉を使わない会話（意思疎通）が何より楽しく幸せを感じます。成功しても失敗しても全て自分の責任というのも魅力のひとつです。

Q 反対に苦労しているころは？

A 無農薬有機で栽培した作物を加工品にしてお客様のお手元に届けたいので、栽培や加工の勉強だけでも手いっぱい。トライ&エラーの連続です。一人で全ての過程をこなす

のは果て

しない道

程だなー

と試行錯誤



誤中ですが、こんな自身の状況の全てをも楽しく幸せに感じるの、苦勞ではなく挑戦です。

Q 酒田農業の魅力は？

A 人が温かいと感じることです。農業を始める時にも、畑の近くに引越する時にも、本当に多くの方にお世話になり、有り難い方々がたくさんいます。畑作業をしても近所の畑の皆さんが笑顔で声をかけてくださり、栽培方法・販売のノウハウなど幅広く教えて下さいます。大笑いしながら皆さんとお喋りしている時などに温かいなとしみじみ思います。

Q これからの農業での夢(目標)は？

A 育てた野菜と加工食品を移動販売しながら、そこで出逢ったお客様とほっこりした和みの時間を共有させて頂くのが最終目標です。近所の畑のおじいちゃんのように、90歳を過ぎても畑で空を見上げて笑顔でいることが夢です。

「山形県産ワインを世界に」

石澤 毅臣^{たけみ}さん

八幡・上草津地区



2016年から鳥海山の麓でワイン用ブドウ栽培を手掛け、今後ワイン醸造施設も計画している「日向エステート」の社員として、今年4月から酒田市に移住している石澤さん。栽培を任せられている畑におじゃましました。

Q 移住して5ヶ月が過ぎましたが、酒田での生活はいかがですか？
A 上草津地区だけではなく、日向地区の皆さんから親切にしてください。快適に過ごしています。毎週末は、下黒川地区の産直どんで畑にご飯を食べに行っています。
Q 耕作面積はどのくらいで、どんな農産物を作っていますか？
A 耕作面積は、八幡・湯の台地

区の3か所に合計で3畝で、ワイン用ブドウを栽培しています。品種はシャルドネとピノ・ノワールの2品種です。

Q 就農したきっかけを教えてください。

A 以前は山形市のレストランでソムリエをやっていたのですが、その時にワインのことをいろいろ調べていたら、山形県産のワイン用ブドウのポテンシャルの高さに気づいて、提供するだけでなく自分で栽培してみたいと思ったからです。そんな時に知人のソムリエの方に、「日向エステート」を紹介してもらい就農しました。

Q 1年目で苦労している点は？

A 就農する前の1年間、週末にワインアカデミーで栽培方法の勉強もしたんですが、実践してみる



と全くわからないことばかりですね。今まで農業とは違う世界にいたので、軽トラックやトラクターなどを使うのも初めてでした。

Q 酒田農業の魅力は？

A 山形では今まで良いワイン用ブドウが作られてきたので、酒田でも日照量・標高から考えると良いブドウができるかと確信して栽培しています。そして、庄内には美味しいレストランがたくさんある

ので、そこで作ったワインが提供できれば「食の都・庄内」にも貢献できると思っています。

Q これからの農業での夢(目標)は？

A 自分で栽培したブドウでワインを作り提供できるレストランを持ちたいです。そして、良いブドウと良いワインを作ることので「ワイン用ブドウ産地・山形」を世界にPRしていきたいです。

「さかたでアグリ支援事業」で新規就農をサポート!

酒田市では、酒田市での就農を目指す方に対し、「就農希望」「就農準備」「就農開始」の各段階に応じた支援を実施し、円滑な就農促進と新規就農者の農業経営の早期確立を図ります。

事業内容

就農希望

- ◇新規就農イベントに出店
- ◇高校生・大学生への就農宣伝活動
- ◇「職と農のビジネス塾」開催支援

就農準備

- ◇農業インターンシップ受入
農業体験・短期研修希望者と先進的農業経営体とのマッチングを支援し、市内での体験・研修を積み、就農を後押しします。

就農開始

- ◇さかたで独立就農支援事業費補助金
新規就農に必要な初期投資経費を支援し、農業経営の早期確立を図ります。
【対象者】酒田市で、新たに独立・自営で農業を営む意向のある者(認定新規就農者など)
【補助率】定額(上限1,000千円)
【対象経費】
○農地借上料 ・農業委員会を通じた賃貸借に限る
○資材等購入費 ・パイプハウス資材購入費、農業用小型機械購入費、肥料費、農薬費 など
○農業用機械等借上料
・トラクター(レンタル)、軽トラック(リース) など

詳しくは、酒田市 農政課 担い手支援係まで ☎26-5766

キラリな女性

…かがやく
女性農業者

『自分らしく…』

保岡 美佳
本 間 美 佳

私の家は代々農業をしてきました。小さい頃は牛もいて、牛舎や畑、田んぼで遊んでいました。今も変わらず食卓へは自分の家で作られた美味しいお米、新鮮な野菜が並びます。

私は一人っ子なのでいずれは農家を継ごうと思っていました。が、小さい子と関わることが好きで、大学卒業後は保育士になりました。ですが、父が体を壊したことをきっかけに就農することを決意し、8年間務めた保育士を一昨年辞め今日に至ります。

まず初めに、市役所で『食と農のビジネス塾』があることを知り通うことにしました。主に山形大学農学部で講義があり、時には施設見学にも行きました。受講者には学生から60代の方まで幅広い年齢の方々がいて、たくさんの方の

話を聞き、会話することでとても良い刺激を受けました。最後にはビジネス計画書を作成、発表し優秀賞を頂くことも出来ました。このビジネス塾で学んだ事を活かしつつ、日々父母から教えて貰いながら農業を習得していきたいと思っています。

今では作った野菜をたくさんの方に食べてもらいたく、お店に出荷しています。自分らしく、楽しみながら農業をしたい…そんな思いから手作りのPOPを掲示したり、マスキングテープに書ききっておすすめの調理方法や一言を書いたりすることが私のこだわりです。

そして、体力的にもきついことが多い中、誠実に仕事に向き合う父母はとても尊敬できる存在なので、父母を目標にこれからも「自分らしく」を忘れずに楽しみながら農業を頑張っていきたいと思えます。



オクラの収穫作業

農地に関するほていむを解消

教えて

キラリン



このコーナーでは、農地に関する素朴な疑問・質問に、キラリンがお答えします。

今号のテーマ
農地パトロール

Q なぜ農地パトロールが必要なんですか？

農地は一度耕作をやめて数年経てば、原形を失うほどに荒れてしまい、耕作できる状態に戻すのに、大変な手間と労力がかかります。また、農地の適正な管理を怠ると、雑草の繁茂による病害虫等の温床となるなど、近隣農業者や周辺住民に大きな迷惑となる可能性があります。

そこで、平成21年の農地法改正により、農業委員会は毎年1回、農地の利用の状況についての調査を行わなければならないとされ（農地法第30条第1項）、

酒田市では毎年7月から8月を強化月間に設定し実施しています。

Q 農地パトロールでは何を調査するのですか？

農地の利用促進につなげるための情報収集を目的に、

- ①地域の農地利用の確認
- ②遊休農地の実態把握
- ③違反転用の発生防止・早期発見を重点に調査しています。

Q 遊休農地を確認した場合はどうなりますか？

農地所有者等に今後の管理の意向を調査し、関係機関との協議や地域等への働きかけを行いながら、速やかな解消対策に努めています。





～若手農業者リレーエッセー～

「大きな決断をしたね！がんばれ！」

これまでお世話になった方々に、激励の言葉をいただきましたながら私は、13年間お世話になった前職を退職し、以前から我が家の水田を委託していた農業法人「株式会社和農日向」に入社させていただきました。弊社では水稲を中心に、牛のエサとなるイネ発酵粗飼料やソバ、そしてブドウ苗生産など、先輩社員にひとつひとつ教わりながら、毎日が「学び」と「挑戦」の時間であり、今、農業に夢中になって取り組んでおります。

農業は高齢化や担い手不足が課題とされる一方、大きな「伸びしろ」を持つ「成長産業」との見方もあります。弊社がある水稲

私と歴史ある成長産業「農業」

八幡・上黒川地区 阿曾文平

栽培が中心の日向地区にも、鳥海高原で酪農に挑戦する北海道の企業や、この地域の土壌にワインの可能性を見出した企業などが参入し、それに合わせて牛の飼料生産やブドウの苗栽培など、水田を活かし連携・連動する「伸びしろ」ある地域の新しい農業」に関わり、弊社としても大きな挑戦の日々を送っております。

成長産業と言われる「農業」。表現は変わっても、やはり天候や圃場の土壌性質、そして「生きもの・食べ物」を相手にする「生命産業」です。また、この中山間地の水田を潤す水路に目を向ければ、いかにこの土地で先人たちが農業、そして水田に命を懸けてきたかがわかります。私は、伸びしろある新しい農業への挑戦とともに、先人たちがつないできた歴史ある地域を守り、発展させる存在になりたいと思います。



全国農業新聞

農家の経営と暮らしに役立つ情報を農業者の視点でお届けします

- 発行日 毎週金曜日
- 購読料 1か月 700円

※お申し込みは農業委員会へ

農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

*** 農業者年金のメリット ***

- ① 少子・高齢化時代に強い積み立て方式
- ② 保険料の額は自由に決められます
- ③ 終身年金で80歳までの保証付き
- ④ 保険料は全額社会保険料控除
- ⑤ 保険料に国庫補助も（要件があります）

～ 世代を超えて農家に伝わる酒田言葉 ～

在来言語

この言葉の意味、あなたはわかりますか？

【問題】

『ねぎのさぐりしてこい』



【正解】

畑のねぎの土寄せをしてきなさい



農業委員会がおじゃまして

お聞きしました！

東平田 関地区

佐藤 弘
セイ 弘
ご夫妻



三世代家族の弘さん（77歳）、セイさん（76歳）ご夫妻は、約13畝に水稲、飼料用米などの作付けと60頭の肉用牛経営を行っている農家です。

農家の長男として学校を卒業後に就農した弘さんは、水稲中心の経営を行っていましたが、経営の多角化を目的に、昭和53年に整備された関畜産団地で肉用牛経営を始めました。現在は息子さんが中心となり、堆肥や稲ワラを利用した耕畜連携による循環型農業に取り組んでいます。

「健康維持のためには農業やス

ポーツで体を動かすのが一番」と話すお二人。世代交代して経営の第一線からは退いています。今でも家庭菜園で体を動かしています。また 若い頃はバレーボールで汗を流し、弘さんが監督、セイさんが選手として、ママさんバレーの全国大会にも出場したほどのスポーツマンでした。

市議会議員を6期23年務められ、現在も地元の社会福祉法人の理事長を務められている弘さん。加工グループ「東平田さくらグループ」で農産物の加工や食育活動で活躍されたセイさん。共に地域発展のために忙しい日々を過ごされてきました。

酒田農業については、「若い世代の人たちには、この酒田の美しい農地を守ってもらいたい」と弘さん。これからも元気で活躍ください。

（庄司隆委員）



お知らせ

農地中間管理事業

借り手・貸し手ともに、令和3年から借り受け・貸し付けしたい場合は期限まで申し込んでください。

- **申込期限**
10月30日(金)
- **申し込み**

酒田市農業委員会事務局、庄内みどり農協各営農課、酒田市袖浦農協営農販売部へ。

※本事業は白紙委任です。貸し付けする相手が決まっている場合は、窓口でご相談ください。

- **各種変更届**

すでに契約されたものの各種変更手続き（名義変更、住所変更、振込口座変更、借賃変更など）も忘れずに手続きしてください。

収入保険にご加入ください

収入保険は、全ての農産物を対

象に経営努力では避けられない「収入減少を広く補填する」新しい農業保険です。

【問】NOSAI山形庄内支所
☎0234(91) 1553

編集後記

コロナ禍の中でも、自然は芽生えの春から輝く夏そして実りの秋と巡ってきます。今年の夏は雨続きで草の勢いがよく「草を制する者は、農業を制する」と独り言を言いながら草むしりをしていました。「さらり」の編集委員は、次号から交代します。3年間、読んでいただきありがとうございます。農業について、わからないことや、知りたいことがありますから、ぜひ近くの農業委員に声をかけてください。

い。市民の皆さんから酒田農業のファンになってもらえたらこんなに嬉しいことはありません。

（会報委員長 関口友子）

